平成25年度 施政方針

氷川町の発展を目指し一致団結

若葉に風薫るさわやかな季節を迎え、皆さまには日々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

日本の経済は、ギリシャの財政問題に端を発する欧州債務危機の影響による世界経済の減速や、急激な円高・株価の変動などが国内経済にも大きな影響を与え、先行き不透明な状況が依然として続いています。

また、国の財政状況は、平成24年度末には長期債務残高が、一般会計予算額の約2分の1以上にも相当する額が増加する見込みとなるほど大きく悪化しています。

このような中、国は安倍政権の下、3本の矢と称される「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」の3つを基本方針としたデフレ経済を克服するための経済政策を積極的に進めるとしており、平成25年度予算については、中期財政フレームに定められた「歳出の大枠」を越える予算が審議されています。

地方財源については、必要な財源は確保するとしているものの、人件費に充てる地方交付税を約4000億円削減する予算案と関連法案も同時に審議されております。

一方、熊本県もまた、数次にわたる行財政改革により行政体制の整備や財政健全化に取り組み、財政調整用4基金の増加など初期の目標を達成したものの、県が示した「平成25年度当初予算の大まかな収支見通し」では、災害関連事業の増嵩などもあり、財源不足が見込まれ、厳しい状況には変わりはありません。

このような国・県の政策や財政状況を踏まえて、平成25年度氷川町一般会計予算につきましては、将来の歳入減を見据えた厳しく堅実な財政運営に向けて創意工夫を図り、事務事業の徹底的な見直しや事業間の優先順位の厳しい選択を行う一方、町勢発展の礎を築くために重要と考えられる事業については、国・県の緊急経済対策費や地域の元気臨時交付金等の活用を図り必要な財源を確保することとし、めりはりのある予算編成に心がけ、対前年比7・1％増の総額60億5074万6000円といたしました。

なお、国民健康保険特別会計19億8139万1000円、介護保険特別会計13億6422万8000円、後期高齢者医療特別会計1億5278万4000円、公共下水道事業特別会計7億7269万4000円、宅地開発事業特別会計3924万2000円を含めると103億6108万5000円の予算規模による町政運営となりますので、経費節減に心がけるとともに、適正な予算の執行に努めてまいります。

氷川町が誕生して8年目を迎えますが、合併の真価が問われる大切な時期を迎えています。平成25年度は「氷川町発展に向けた飛躍の年」と位置づけ、当面する課題を解決するとともに、将来の氷川町を展望した新たな視点を持ち、氷川町総合振興計画の基本理念に基づいた次の5つのまちづくり戦略を掲げ、議会の協力をいただき、町民の皆様と協働しながら、やすらぎと活力のあるまちづくりに向けた町政の展開を行ってまいる所存でございますので、一層のご協力をお願い申し上げます。

活力ある産業の振興

安定した生活基盤を確保するためには、何と言っても基幹産業である農業・商工業に活力がなくてはなりません。

農業振興策としては、TPP参加交渉などの動向を注視しつつ、足腰の強い農業経営を図るために、各種生産組織および町内14の営農組織を中核とした組織型農業を推進するとともに、共同経営を視野に入れた集落営農組織の育成を推進してまいります。

新規の事業として、い業機械再生支援事業を創設し、い業関連機械の維持管理費を支援することにより、生産機械の長寿命化を図ります。

昨年、取り組みが少なかった保育所等畳表需要拡大事業につきましては、熊日新聞の社会面に県立大学・北原教授の「畳教室で高感度アップ」という記事が掲載されていましたが、畳の効能などの周知を深め、町内の保育所などへ普及を図ります。

経営安定推進事業、くまもと稼げる園芸産地育成対策事業および鳥獣被害防止総合対策事業の国・県事業を積極的に活用し、新規就農者の支援、園芸作物農家の施設整備支援および鳥獣被害の防止を図ります。

氷川町農業元気づくり支援事業は、イチゴのダニ予防対策、酪農業の性判別精液活用推進事業など5つの対策を新たに加え、葉タバコ病害予防対策および露地野菜病害虫対策とともに事業を展開します。

▲今年度は「氷川町発展に向けた飛躍の年」と話す藤本町長

今月のイチオシ！

次世代へ伝えたいもの

早尾地区チューリップまつり

4月7日、早尾公民館において早尾地区チューリップまつりが行われました。

早尾地区が掲げる「地区交流を深める」・「花いっぱいできれいな自然の地区にする」・「次世代へ伝統文化を伝える」という3つの目標のもと、色とりどりのチューリップが飾られ、早尾地区の伝統芸能である棒術・ドラ・スッキョンが披露されました。

消防団入団などの大人への節目の儀式として行われてきたスッキョンは8年ぶりの復活ということもあり、多くの見物者で賑わい、参加者が無事に儀式を終えると大きな歓声が上がっていました。

参加された濤岡正宗さんに話を聞くと、「恥ずかしかったです。」と照れくさそうに話してくれました。

▲伝統芸能ドラの披露

▲参加者には「しし鍋」が振る舞われました

CONTENTS

2 もくじ／今月のイチオシ！

3 特集
平成25年度 施政方針
～氷川町の発展を目指し一致団結～

6 平成 25 年度 一般会計予算

8 職員人事異動

10 平成25年度消防団幹部紹介／第8回氷川まつり開催!

11 まちのトピックス！
全国大会出場選手激励会／氷川町名誉長寿表彰／子ども相撲大会／ロアッソ熊本サッカースクール／町内小学校で卒業式／社会福祉功労者などに知事表彰／ふれあい大学閉講式・大学祭／氷川町戦没者追悼式／吉本さくら祭り／町内中学校で入学式／町内小学校で入学式／法務大臣感謝状贈呈伝達式

14 ５月カレンダー
行事予定表／休日在宅医院／まちへのホットライン

16 けんこうだより

17 認知症キャラバンメイトだより／こころの健康コーナー

18 食の優良ドライバー養成講座

19 ひかわスポーツクラブたより

20 立神峡里地公園だより

21 町民文芸

22 くらしの情報

27 伝言板／ひとのうごき

28 ひかわっ子写真館／有佐駅前団地住宅入居者募集／編集後記